

平成25年度 第2回 経営協議会 議事要録

日 時 平成25年10月31日(木) 13:15～14:35

場 所 事務局1号館 2階 会議室

(構 成 員) 学長, 工藤, 小畑, 庄山, 関, 土井, 中島, 理事・副学長(企画・人事担当), 理事・副学長(教育・国際担当), 理事・副学長(研究担当), 理事・副学長(財務・広報担当), 圓川, 横田の各委員, 副学長・事務局長

(構成員以外) 清水監事, 水本副学長, 植松副学長, 大学院理工学研究科理学系長, 大学院理工学研究科工学系長, 大学院生命理工学研究科長, 大学院総合理工学研究科長, 大学院情報理工学研究科長, 大学院社会理工学研究科長, 比嘉教授(大学院イノベーションマネジメント研究科長代理), 資源化学研究所長, 精密工学研究所長, 応用セラミックス研究所長, 原子炉工学研究所長, 附属図書館長, 附属科学技術高等学校長, 技術部長, 関係部課長・事務長

○ 平成25年度第1回経営協議会議事要録(案)の承認

○ 審議事項

1. 国立大学法人東京工業大学特定有期雇用職員就業規則等の一部改正について

岡田理事・副学長から, 資料1に基づき, 特定有期雇用職員就業規則等の一部改正することについて説明があり, 審議の結果, これを了承した。

○ 報告事項

1. 国立大学のミッションの再定義について

岡田理事・副学長から, 資料2-1及び2-2に基づき, 9月24日(火)に開催された「理学分野のミッションの再定義に関する意見交換」の状況等について報告があった。

2. 平成24事業年度財務諸表の承認について

大谷理事・副学長から, 資料3に基づき, 平成24事業年度財務諸表の承認について報告があった。

3. 平成24年度財務レポートについて

大谷理事・副学長から, 資料4に基づき, 平成24年度財務レポートについて報告があった。

4. 平成26年度概算要求について

大谷理事・副学長から, 資料5に基づき, 平成26年度概算要求について報告があった。

5. T SUBAMEの増強について

大谷理事・副学長から, 資料6及び席上配布資料1に基づき, T SUBAMEの増強を行い,

性能を2倍以上とし、電力消費を10%以上低下させたことについて報告があった。また、産業利用等により9千万円以上の収入が見込まれていることについて報告があった。

6. 平成25年度施設整備状況について

岡田理事・副学長から、資料7に基づき、平成25年度施設整備状況について報告があった。

7. 平成25年度研究大学強化促進事業の採択について

辰巳理事・副学長から、資料8に基づき、平成25年度研究大学強化促進事業の支援対象機関への採択について報告があった。

○ 大学運営の諸問題について

1. 東工大の教育改革について

学長から、資料9-1から9-5に基づき、本学の教育改革について説明があった後、意見交換が行われた。

(主な意見等)

- ・ 学生が主体的に勉強できる環境づくりということだが、学生の選択によっては全学のどの授業科目でも受講できるような仕組みも含まれているのか。
- ・ 学生が自分でやりたいことを決めて、その通りに進んでいくことができるように、できるだけ選択肢を増やし、柔軟性のあるカリキュラムにしていきたいと考えている。
- ・ 世界で何番という話になると、日本の場合には外国人をどれだけ雇っているかということが重要になってくる。また、それに対応した事務局の国際化も重要である。今後すぐにはとはいかないと思うが、中長期的なスパンで取り組んでいただきたい。
- ・ 事務局の国際化については、国際室が策定した国際戦略に基づき、国際的感覚を備えた職員の増加に取り組んでいるところである。これから、若手教員を中心に諸外国トップクラス大学の調査に行ってもらいが、その際に事務職員にも同行してもらおう予定である。できることから着実にやっていきたい。
- ・ 単位制そのものは変えないのか。また、ナンバリング制にした場合、順序を踏んで講義を取らずに、途中をスキップして上の講義を取った場合、消化不良を起こし教育効果があがらないということにならないか。
- ・ 上のナンバーの講義を取るためには事前にとるべきものを指定することを考えている。もし順序を踏まずに上のレベルに進もうとする場合は、それを受けるだけの資格をもっているかチェックして、学生がつまみ食いだけで専門性が無いということにならないようにする仕組みを作ることを考えている。
- ・ 卒論や修論は従来通りのものでやるのか。
- ・ 124単位以上を取ったところで学部卒の資格を与える仕組みは変えられないので、学部・大学院を連結したカリキュラムとして課題研究のようなものを作り、課題研究を開始すると早く修士の科目をとれるようなシステムを作っていきたい。

○ その他

1. 環境報告書2013について

植松副学長から、席上配付資料2に基づき、本報告書について説明があった。

2. 次回開催について

学長から、次回は平成26年1月20日（月）15：00から、事務局1号館2階会議室で開催する旨の案内があった。

以 上